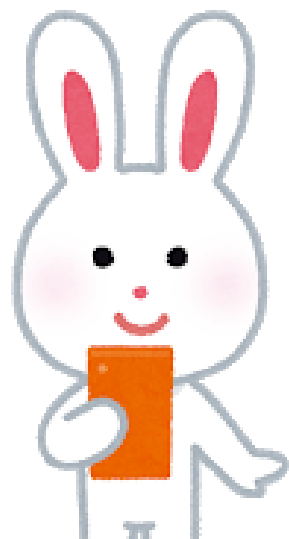


iPhone

スマートフォン初心者編

# 文字の入力



# メールの使い方

## 目次

### 1. 文字の入力

1-A	音声による入力	.....	P3
1-B	キーボードによる入力	.....	P5
1-C	キーボードの切り替え	.....	P6
1-D	文字変換	.....	P8
1-E	文字の削除	.....	P11
1-F	カーソルの移動	.....	P12



# 1-A 文字の入力 音声による入力

連絡先登録時の氏名入力欄や、メールの件名や本文の入力欄、インターネットの検索ボックスなど入力したい文字を書き込みができる場所をVoiceOverでは「テキストフィールド」と表現します。音声による文字入力が行えるのはテキストフィールドに限ります。

音声入力では声に出した内容が、テキストフィールド内に漢字かな交じり文で書き起こされます。非常に精度は高いですが、固有名詞や人名の場合は誤りが生じる場合があります。

- ① タッチやスワイプによりテキストフィールドを選択し、ダブルタップします。

全てテキストフィールド



- ② 画面を2本指でダブルタップし、「ポポン」という合図の音がしたら入力したい内容を声に出します。

※入力可能な状態になると画面の下半分にキーボードが表示されます。音声では「テキストフィールド編集 中」と読みます。

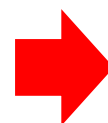


# 1-A 文字の入力 音声による入力

③ 音声入力の一時停止や終了の際は、再び2本指でダブルタップします。

音声入力であっても、「テン」や「マル」と口にすることで文章内に句読点を入れる事が可能です。また、改行が必要な場合は「カイギョウ」と口にします。なお、「？」や「！」といった一部の記号も、「ハテナ」や「ビックリマーク」と口にする事で入力可能です。

今スーパーに来てるけどテン卵まだあったっけハテナカイギョウ気づいたらメールしてマル



- ( )マーク ➡ 始まりは「カッコ」、終わりは「カッコトジ」と伝えます。
- 「」マーク ➡ 始まりは「カギカッコ」、終わりは「カギカッコトジ」と伝えます。
- ←↓↑ ➡ 「上向き矢印」などと矢印の向きを伝えます。 **「向き」という言葉が重要**

# 1-B 文字の入力

## キーボードによる入力

iPhoneのキーボードを使用して手入力を行う場合は、以下のいずれかの方法をお勧めします。

### スプリットタップ

1本指で画面を触りながら、もう1本の指で画面をタップする操作です。画面上に触れた指が選択している項目を決定、実行します。例えば、「日本語かな」キーボードであれば、1本の指で行の頭の文字(ア行の場合はあ)に触れたまま、もう1本の指でタップしていくことでその行の文字から順番に入力できます。「あ」行を触れながらもう1本の指で4回タップすると「え」が入力できます。「English(Japan)」キーボードや「日本語ローマ字」キーボードであれば、1本目の指でアルファベットを探し、もう1本の指でタップすることで選択していた文字を決定していくことができます。

### タッチ入力モード

文字入力時に1本指で入力したい文字に触れ、指を離れた瞬間に文字が決定、入力されます。テキストフィールド選択時に「ローター」で「入力モード」を選び、上下のスワイプで「タッチ入力モード」に切り替えることで使用出来るようになります。「English(Japan)」キーボードや「日本語ローマ字」キーボードでの入力時には特に便利です。また、「日本語かな」キーボードでは入力したい文字の行頭の文字に触れたまま1秒ほど待つと、行頭の文字の上下左右にその行の残りの文字が表示されるので、そのまま指をスライドして目的の文字に触れたら指を離して文字を決定します。

# 1-C 文字の入力 キーボードの切り替え

各キーボードの左下には、言語キー(次のキーボードと読みあげられます)があります。ここをタッチしてダブルタップ、またはスプリットタップによりキーボードが切り替えられます。

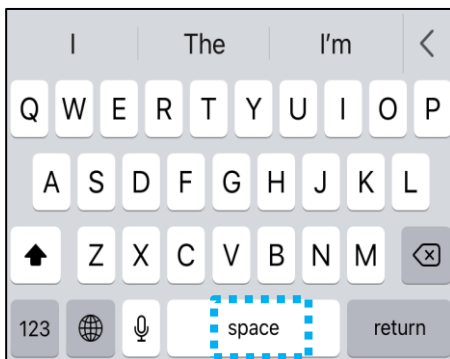
日本語かなキーボード

1



English[Japan]

2



「空白」ではなく[space]と表示

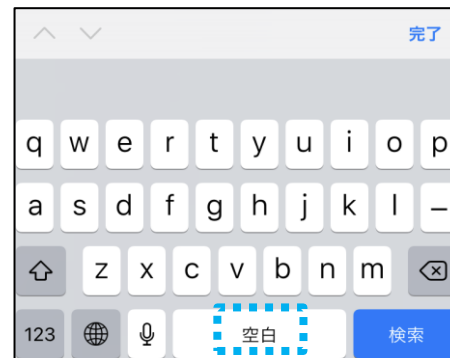
絵文字

4



日本語ローマ字

3



漢字ローマ字変換可能

初期設定では「日本語かな」・「絵文字」・「イングリッシュジャパン」の3つがあります。一覧表示後は、目的のキーボード名を読み上げるまで指を上へスライドさせ、それから指を離すと素早く目的のキーボードに切り替えることが可能です。

# 1-C 文字の入力 キーボードの切り替え

iPhoneの初期設定では「日本語ローマ字」キーボードがありません。パソコンのキーボードに慣れている方は「日本語ローマ字」キーボードの追加をお勧めします。設定は以下の通りです。

- 1 Siriを起動して「設定アプリを開いて」と声をかけます。
- 2 「一般」と読み上げるまで右スワイプを繰り返し、ダブルタップします。
- 3 同じように右スワイプを繰り返し、「キーボード」と読み上げる箇所でダブルタップします。
- 4 再び「キーボード」と読み上げるので、そのままダブルタップします。
- 5 右スワイプで「新しいキーボードを追加」まで進み、ダブルタップします。
- 6 右スワイプで「日本語」まで進み、ダブルタップします。
- 7 右スワイプで「ローマ字入力」まで進みダブルタップします。
- 8 タッチやスワイプで画面右上の「完了」を選びダブルタップします。これで「日本語ローマ字」キーボードが追加されます。
- 9 設定完了後は、アップスイッチャーを利用して設定アプリを終了します。

# 1-D 文字の入力 文字変換

iPhoneのキーボードを使用して手入力を行う場合、漢字変換は自分で選択して行う必要があります。VoiceOverを使用していれば、候補の漢字の説明を読み上げてくれます。また、パソコンと同じようによく使う変換ほど上位に表示されるようになりますので、人により同じ文字でも変換候補の並び順が異なる場合があります。

## VoiceOverのジェスチャーを利用

- 1 各種キーボードで文字入力を行います。
- 2 キーボード上で下にスワイプします。
- 3 スワイプを続けると変換候補を次々に選択していきます。
- 4 適切な変換候補を読み上げたら、その場でダブルタップします。



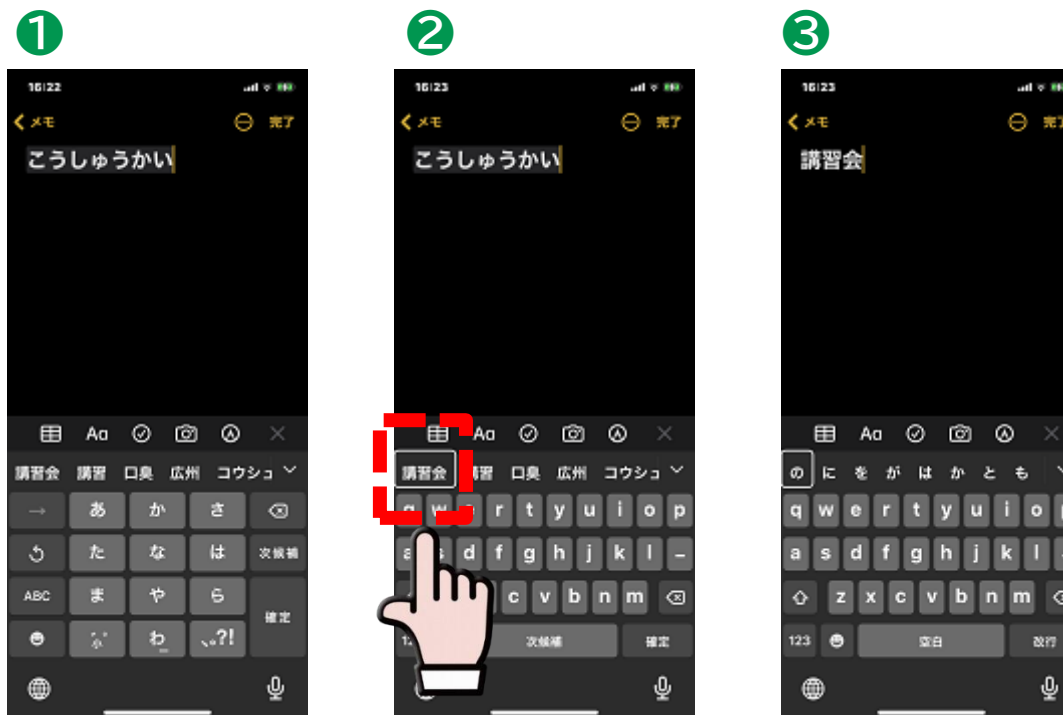


# 1-D

## 文字の入力 文字変換

### 変換候補表示を利用

- 1 各種キーボードで文字入力を行います。
- 2 キーボード上部に変換候補が表示されるのでタッチします。
- 3 左右のスワイプで目的の漢字を見つけたらダブルタップします。文字が確定されます。



# 1-D 文字の入力 文字変換

## キーボードの次の候補を利用

- 1 各種キーボードで文字入力を行います。
- 2 キーボード右側の「次候補(または空白)」と読み上げる項目をダブルタップします。
- 3 次候補のダブルタップを続けると変換候補を次々に選択していきます。
- 4 適切な変換候補を読み上げたら、キーボード右下の確定をダブルタップします。文字が確定されます。

1



2



4



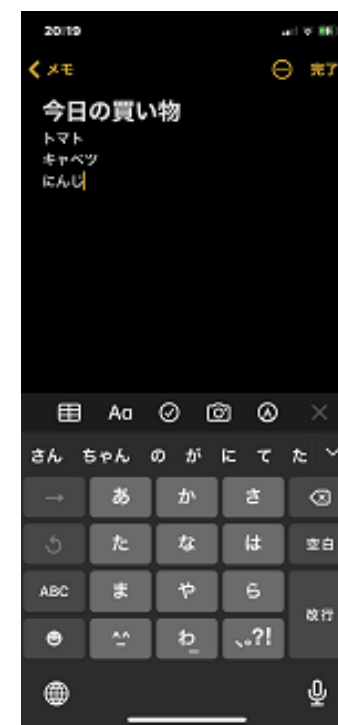
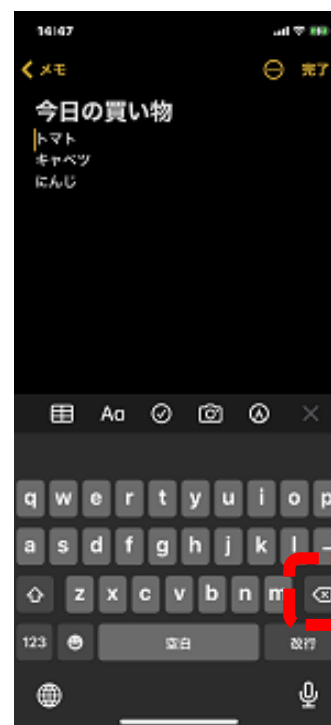
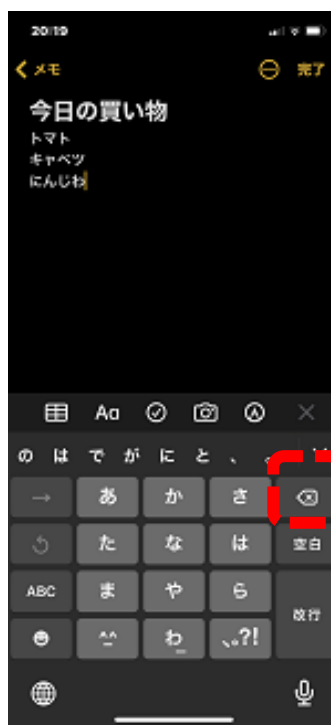
# 1-E 文字の入力 文字の削除

音声入力でもキーボード入力でも入力ミスがあった場合はキーボードで文字を削除します。

誤りに気付いた場合には、表示しているキーボード右上の「削除」キーにタッチしてダブルタップするかスプリットタップを行います。ダブルタップやスプリットタップを行うたびに一文字ずつ削除されます。いずれの方法も一文字削除するごとに削除した文字を読み上げます。

いずれのキーボードも「削除」キーは画面の右端にあります。画面右下から上に向かって指をスライドしていくと発見しやすいです。

※ 間違えて「削除」キーを長押しすると、すべて消えてしまうことがあるので注意が必要です。



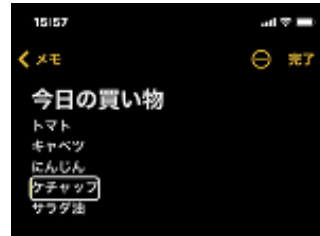
# 1-F 文字の入力 カーソルの移動

iPhoneでもパソコンと同じようにカーソル位置を移動して文字を削除したり、挿入したりする事が可能です。メモ内容や予定の書き換えなど修正が必要な場面は入力直後だけとは限らないためカーソルの移動方法を覚えておくと便利です。

**①** ローターを使用して「文字」、「単語」、「行」などカーソルを移動したい単位を選択します。

**②** 上下のSwipeで**①**の手順で選択した単位に合わせてカーソル位置を移動します。

**③** カーソル位置を確認し、文字の削除や入力を行います。削除や入力方法はこれまでと同様です。



※ ローターを「文字」に合わせてカーソル移動を行うと、漢字の詳細やひらがなのカタカナなどの情報を一文字ずつ読み上げてくれます。

